



# 山田川に愛を告げる

新山ひろし

川の流れに寄り添い、その流れと共に川を下る。美空ひばりの「川の流れのように」の歌のごとく、今回の『溺愛主義』は、川の流れに沿って歩くことにチャレンジしてみたい。川の名は「山田川」、吹田の北東部を流れる川である。山田川に、わが恋心は伝わるのだろうか。

## 山田川の起点は蓮間ヶ池だった

さて、山田川の起点は北千里の「蓮間ヶ池」と言われる。つまり、池から水が湧きだしているのだという。これは驚きだ。蓮間ヶ池は、阪急「北千里」駅の北、北千里公園の中にある。池の向こうには、国立循環器センターが見える。「市報すいた」の「青山台・藤白台かいわい」の記事には、「この蓮間ヶ池は山田上・中・下全域の用水源でした。樋を抜くのは日焼けが厳しい年に限られ管理も厳しかったようです。このため、山田上の人々は、夜中にこっそり樋を抜いて水を盗みに行きました」とある。この池からポコポコと水が湧いていたというのだ。元々、山田という土地は「山田・佐井寺、月夜にやける」ということわざがあるように、月の弱い光でも田んぼが焼けて、干上がってしまう。つまり、干ばつ地帯だった。千里は「九十九谷」とも呼ばれ、その谷に溜池を築くことで、何とか水不足を補ってきた。そんな中で、水が豊かに湧きあがる蓮間ヶ池は、奇跡のような場所だった。今も、この池から一条の水路が南に走っ

ている。その水路に沿って山田川の流れを辿っていくことにしよう。水路は、ゆるやかに傾斜して軽快に流れる。左右には、千里団地の風景が広がる。その側に、昔ながらの溜池が残されていたりする。藤白台にはピアノの形をした「ピアノ池」というチャーミングな池があった。

## 山田川が東南に大きくカーブする

水路に沿って、さらに南へ下ってゆくと、鉄錆びた水門が見えた。ここで、水路は、東側の水遠池からの水路と合流して、初めて「山田川」という名になる。ここからは、すっかり川らしい表情を見せて流れる。左には万博の丘、右に山田駅横のガスタンク。そして、名神高速道路、モノレールをアンダークロスして、東南の方向に大きくカーブしてゆく。なるほど、千里丘陵は、東南に落差を持っているのだ。そして、水は、その谷の底の部分を通る。当たり前のことだが、谷を走り流れる水が、今日の僕にはとても新鮮に感じられる。この山田川の東南へのカーブのポイントも、歴史的にも、街道の要衝だった。ここにあるのが「山田三辻道標」で、北から箕面の西国

街道につながる小野原街道がここで、山田街道と交差して山田の旧村につながる。そして、山田の町では街道と川が、寄り添うように東南に、ゆるやかな傾斜で伸びて行く。そして、その街道と川に寄り添うように山田の町が広がっている。かつて「吹田千軒・山田千軒」と言われた「山田村」の賑わいは、街道と川から生まれたのである。その賑わいは幻とはなったが、山田の町には、今も、美しい町並みが残されている。この懐かしい町並みの北側の丘陵にモダンな「万博公園」があることが不思議な気もする。

## 蓮間ヶ池は圓照寺の奥の院だった

さて、山田の町の中心には、圓照寺という寺がある。昔は、もつともっと大きな寺院を持っていたのだが、今はいくつかの寺に分かれ、山田全体を寺町のような風情に感じさせている。

圓照寺の来歴を訪ねてみると、853年、山田川の起点、蓮間ヶ池付近に建立されたのである。圓照寺の奥の院が蓮間ヶ池である、その本尊が秘仏「准てい観音」である。「准てい観音」は、インド渡来の神で、「准てい」は、清浄を意味し、心を清浄にする働きがある。同時に、女性性、母性の意味合いもあるという。僕には、「准てい観音」

が「湧き水」そのものを現しているように思える。つまり、蓮間ヶ池に湧き出た水をシンボライズして観音像を彫ったと考えられる。蓮間ヶ池と圓照寺をつなぐ山田川の流れが「准てい観音」の働きそのものと感じられた。

## 摂津市の安威川に流れ込んだ

摂津市に入り、川沿いの道を行く。名神高速道路、JR、さらには、阪急線をアンダークロスする。そして、ついに、安威川に流れ込んだ。ああ、やっと着いた。徒歩でトボトボと3時間あまり、結構歩いた。この旅で、僕は、山田川を愛することができたのだろうか。愛せたかどうかは分からないが、山田川と仲良くなったみたいでうれしい。

安威川との合流点を少し東に遡れば、モノレールの「摂津駅」があった。このモノレールも、南北に山田川に寄り添っていたのだ。帰りは、モノレールに乗って「山田」まで戻ることしよう。



- ① 蓮間ヶ池：北千里公園の中にある。ここからポコポコと水が湧いている。
  - ② 蓮間ヶ池からの一条の水路：やがて、山田川となる。
  - ③ 山田川の起点となる水門：ここから川らしい表情となる。
  - ④ 阪急・モノレール「山田」駅付近を流れる山田川：ここから大きく左にカーブする。
  - ⑤ 山田三ツ辻道標：右をの原村・みのお・いけだ 左をか町・いたみ
  - ⑥ 山田の町を行く小野原街道：素敵な散歩道だ。
  - ⑦ 山田の里をゆったり流れる山田川。
  - ⑧ 圓照寺山門：秘仏「准てい観音」が1月18日御開帳された。
  - ⑨ 山田イザナギ神社前を流れる山田川の橋で一休み。
  - ⑩ 正雀辺りを流れる山田川：川の両脇は遊歩道となっている。
  - ⑪ 安威川に合流：手前が山田川。安威川は左から右に流れる。
- 参考文献  
 ●「市報すいた・わたしの町」「青山台・藤白台かいわい」  
 ●「わかりやすい吹田の歴史・本文編」編集発行・吹田市立博物館  
 ●「山田郷土史「山田のあゆみ」山田自治会郷土史編集委員会  
 ●「山田村村誌」山田村役場